

## 『経済研究』総索引

## 『経済研究』編集部

## 凡 例

1. この索引目録は、『経済研究』第1巻第1号(1950年1月)より第30巻第4号(1979年10月)までの各号に掲載された論文・調査・寄書・書評などを収録したものであり、事項索引・書評索引・著者索引よりなっている。
2. 事項索引は、下記の事項分類表により論文など(書評を除く)各1篇につき1~2の事項に分類したものである。
  - 01 経済理論: 010 経済理論一般, 011 経済学方法論・経済哲学, 012 価値・価格, 013 国民所得・国富, 014 再生産, 015 生産・分配・支出, 016 物価, 017 経済成長・景気循環, 018 経済体制・経済計画, 019 社会主義経済論
  - 02 経済学説史・経済思想史: 020 社会科学・社会思想, 021 経済学説史一般, 022 経済学説史
  - 03 統計: 030 統計一般, 031 数理統計, 032 計量経済分析, 033 国民経済計算, 034 日本統計資料, 035 外国統計資料
  - 04 経済政策: 040 経済政策一般, 041 金融政策, 042 財政政策, 043 公共政策
  - 05 貨幣・金融: 050 貨幣, 051 金融, 052 銀行, 053 証券, 054 その他の金融
  - 06 公共経済: 060 公共経済一般, 061 財政, 062 国家財政, 063 地方財政, 064 地域問題・環境問題, 065 都市問題, 066 国民生活・経済厚生・社会保障
  - 07 人口・労働: 070 人口一般, 071 労働一般, 072 労働問題, 073 労働市場, 074 労働組合・労働運動
  - 08 産業: 080 産業一般, 081 産業連関, 082 産業組織・市場構造, 083 個別産業
  - 09 企業経済: 090 企業経済一般, 091 企業経済, 092 企業史・経営史, 093 大企業・企業集中, 094 中小企業・組合, 095 公企業, 096 社会主義企業
  - 10 経済史: 100 経済史一般・世界経済史, 101 数量経済史, 102 日本経済史, 103 アジア・アフリカ経済史, 104 ヨーロッパ経済史, 105 アメリカ経済史
  - 11 日本経済: 110 日本経済
  - 12 アジア経済: 120 アジア経済
  - 13 アメリカ経済: 130 アメリカ経済
  - 14 イギリス・西欧経済: 140 イギリス・西欧経済

- 15 ソ連・東欧経済: 150 ソ連・東欧経済
- 16 アフリカ・オセアニア経済: 160 アフリカ・オセアニア経済
- 17 国際経済: 170 国際経済・世界経済, 171 外国貿易, 172 国際収支, 173 国際金融, 174 開発途上国・援助, 175 資源問題, 176 植民地問題  
各事項に分類された論文などは、それぞれの事項に関し著者名のアルファベット順に配列し、事項索引番号、著者名、論文などのタイトル、論文・調査などの分類記号、掲載巻号、出版年月、ページ数の順に記載してある。ここに事項索引番号とは、例えば「経済理論一般」(事項番号010)という事項の最初に配列されるものを010-1として示すものであり、事項索引表の記載に際しては、010を省略して示した。  
また、『経済研究』所載の研究は、論文・調査・寄書・覚書・書評などに分かれているが、これらについての分類記号を、論文は[A], 調査・展望は[S], 寄書・覚書・研究ノート・学会報告・紹介は[C], 座談会は[D]と定め、それぞれの研究に付した(日本経済分析とよばれた研究は、その内容により[A],[S],[C]のいずれかの記号を付した)。
3. 書評索引は、書評の対象図書(著者)につき、著者名のアルファベット順に配列してあり、書評索引番号、著者名、著書名、掲載巻号、出版年月、ページ数、書評者名の順に記載してある。ここに書評索引番号とは、例えばアルファベットのAに分類された書評で最初に記載されたものを、A-1で示すものであり、書評索引表の記載に際してはAは省略して示した。
4. 著者索引は、論文・調査・寄書・書評などの著者別に著者名のアルファベット順に、著者名、事項索引番号、書評索引番号の順に記載してある。その場合、1つの事項だけに分類された論文などは、その事項索引番号で、そして2つの事項に分類された論文などは、2つの事項索引番号を連結し、例えば「価値・価格」(事項番号012)と「物価」(事項番号016)に分類された論文などは012-1=016-1などの連結事項索引番号で示されている。また書評については、書評された図書が複数の著者の執筆による場合には複数個の書評索引番号を連結して、例えばH-3=L-15のように示してある。さらに、例えばK-48:S-45は2編の図書(K-48とS-45)を1人の書評者が同時に書評したことを示す。